

令和4年玉村町議会第3回臨時会会議録第1号

令和4年6月30日（木曜日）

議事日程 第1号

令和4年6月30日（木曜日）午前10時開議

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期の決定

日程第 3 議案第35号 令和4年度玉村町一般会計補正予算（第4号）

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（13人）

1番	羽 鳥 光 博 君	2番	堀 越 真由子 君
3番	松 本 幸 喜 君	4番	新 井 賢 次 君
5番	小 林 一 幸 君	6番	月 田 均 君
7番	備前島 久仁子 君	8番	三 友 美惠子 君
9番	高 橋 茂 樹 君	10番	浅 見 武 志 君
11番	宇津木 治 宣 君	12番	笠 原 則 孝 君
13番	石 内 國 雄 君		

欠席議員 なし

説明のため出席した者

町 長	石 川 眞 男 君	副 町 長	萩 原 保 宏 君
総 務 課 長	齋 藤 善 彦 君	健康福祉課長	岩 谷 孝 司 君
経済産業課長	齋 藤 恭 君		

事務局職員出席者

議会事務局長	田 村 進	局長補佐	関 根 伸 行
庶務係兼 議事調査係	重 田 智 美		

○開会・開議

午前10時開会・開議

◇議長（石内國雄君） ただいまの出席議員は13名であります。定足数に達しておりますので、これより令和4年玉村町議会第3回臨時会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。



○日程第1 会議録署名議員の指名

◇議長（石内國雄君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員には、玉村町議会会議規則第127条の規定により、3番松本幸喜議員、4番新井賢次議員の兩名を指名いたします。



○日程第2 会期の決定

◇議長（石内國雄君） 日程第2、会期の決定について。

本臨時会の会期につきましては、本日午前9時より議会運営委員会を開催し、審査をしておりますので、議会運営委員長の報告を求めます。

高橋茂樹議会運営委員長。

〔議会運営委員長 高橋茂樹君登壇〕

◇議会運営委員長（高橋茂樹君） 令和4年玉村町議会第3回臨時会が開催されるに当たり、本日午前9時より役場4階会議室において議会運営委員会を開催し、議事日程を作成いたしましたので、報告申し上げます。

詳細につきましては、お手元に配付してあるとおりでございます。

本臨時会の会期は、本日1日限りといたします。

町長から提案される議案は、補正予算に関する議案1件であります。

本臨時会の効率的かつ円滑な議会運営ができますよう各位のご協力をお願い申し上げまして、報告といたします。

◇議長（石内國雄君） 以上で議会運営委員長の報告を終了いたします。

お諮りいたします。

令和4年玉村町議会第3回臨時会の会期は、ただいま議会運営委員長より報告のありましたとおり、本日1日限りとしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

◇議長（石内國雄君） ご異議なしと認めます。

よって、本臨時会の会期は本日1日限りと決定いたしました。

◇

○日程第3 議案第35号 令和4年度玉村町一般会計補正予算（第4号）

◇議長（石内國雄君） 日程第3、議案第35号 令和4年度玉村町一般会計補正予算（第4号）。

これより提案理由の説明を求めます。

町長。

〔町長 石川眞男君登壇〕

◇町長（石川眞男君） おはようございます。それでは、議案第35号 令和4年度玉村町一般会計補正予算（第4号）についてご説明申し上げます。

本案は、既定の歳入歳出予算の総額に1億9,584万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を119億7,579万9,000円とするものでございます。

補正内容でございますが、新型コロナウイルス感染症による影響の長期化及び原油価格や物価の高騰に直面している現状を踏まえ、生活者を支援するとともに、地域経済の活性化を図るものでございます。

まず、令和3年度から令和4年度へ繰越明許している住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業でございますが、令和3年度は住民税課税世帯で給付対象外であった世帯についても、令和4年度新たに住民税均等割が非課税となった場合は、対象に追加することになりました。

給付額は、令和3年度と同額の1世帯当たり10万円です。対象世帯は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた家計急変世帯も含め、おおむね1,200件を見込んでおり、既に同給付金を受給した世帯は対象外となります。

なお、事業費は令和3年度から繰越しされた予算で支出するため、今回の補正予算はシステム改修等、給付事務に必要な事務費のみを追加するものでございます。

次に、プレミアム付商品券発行事業についてご説明いたします。国では、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を支援するため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に、コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分を創設し、令和3年度補正予算の保留分と合わせて追加配分することとなりました。玉村町におきましては、1億1,500万4,000円が交付される予定であり、これらを活用して町内で使用できるプレミアム付商品券を発行いたします。

プレミアム付商品券の詳細につきましては、プレミアム率を50%とし、1万5,000円分使用できる商品券を1万円で3万セット販売いたします。全体として4億5,000万円相当の消費を喚起するものであり、物価高騰等に直面している方々を支援するとともに、町内での消費喚起を促し、地域経済の活性化を図ってまいります。

なお、発行業務につきましては、令和2年度にプレミアム付商品券の発行実績のある玉村町商工会にご協力をいただく予定です。

以上が補正内容となりますが、これらの財源の手当といたしましては、それぞれの事業に対する国

庫補助金及び前年度繰越金を予定しております。ご審議の上、ご議決くださいますようお願い申し上げます。

◇議長（石内國雄君） 提案説明が終了いたしました。

これより本案に対する質疑を求めます。

12番笠原則孝議員。

〔12番 笠原則孝君発言〕

◇12番（笠原則孝君） プレミアム付商品券の発行事業は、これが1億9,230万円となっているのですが、先ほどの全員協議会で説明を聞きますと、実際に支払われるのは何か1億5,000万円だと。その差額の説明を願いたいということです。

◇議長（石内國雄君） 経済産業課長。

〔経済産業課長 齋藤 恭君発言〕

◇経済産業課長（齋藤 恭君） お答えいたします。

こちら商品券に対します補助金という形で、今ご質問いただいたように商品券分につきましては1億5,000万円、そのほか4,200万円ほどございますけれども、こちらにつきましては実際に券が金融機関へ持ち込まれるときの換金の手数料でありますとか、あるいは事務をしていただく上での事務費、そのほか換金をする金融機関、どの事業者がどの金融機関に持ち込まれるのかということが実際不明な点がございます。そうしたものに対応するため、事前に金融機関にあらかじめ換金の金額、こちらを販売金額よりも若干多めに準備しておく必要があるというところで、その分につきましても一時補助金という形で支出をさせていただきたいということでございます。

なお、補助金でございますので、こちら全部の事業が終了後、その残余金につきましては町のほうに戻らせていただくというような流れとなっております。

以上でございます。

◇議長（石内國雄君） 12番笠原則孝議員。

〔12番 笠原則孝君発言〕

◇12番（笠原則孝君） 今聞きますと4,200万円ほど、そんなにこの換金事務などでかかるのかということなのです。それだったら、もっこの5,000円をもう少し率を上げて、この4,200万円を圧縮して2,000万円ぐらいにして、アップできないかということなのですが、いかがでしょうか。

◇議長（石内國雄君） 経済産業課長。

〔経済産業課長 齋藤 恭君発言〕

◇経済産業課長（齋藤 恭君） 事務費的な件で、今4,000万円ほどということでございますけれども、実際金融機関での換金の手数料、こういったものにつきましても上昇しており、また事務をする上での費用、これらにつきましても物価影響等の関係もありまして増加しております。その上で

の見積りということで、現状では4,000万円ということで計上させていただいております。

◇議長（石内國雄君） 12番笠原則孝議員。

〔12番 笠原則孝君発言〕

◇12番（笠原則孝君） 取りあえず大まかな計算だと思うのですが、残れば補助金ですから返すということなので、できればもう少し詳細に事務費などを圧縮したらどうかということです。

以上でよろしいです。

◇議長（石内國雄君） ほかに質疑ありませんか。

6番月田均議員。

〔6番 月田 均君発言〕

◇6番（月田 均君） 2年前のプレミアム付商品券の発行事業は1億6,500万円ということで、商工会に1,500万円払うという話で理解できたのですが、今回は銀行での手数料ということで、となると前回のときも1億6,500万円ではなくて、さらに何千万円かかっていたということなのではないでしょうか。

◇議長（石内國雄君） 経済産業課長。

〔経済産業課長 齋藤 恭君発言〕

◇経済産業課長（齋藤 恭君） 前回、令和2年度に実施したときにつきましては、そのときの金融機関での換金の手数料、これは話合いの中で決められたところでございますけれども、単価の設定がされておりました。ただ、その後いろいろ金融機関におきましても、その方針などは変更されている部分もございますし、その点につきましては上昇しているところでございます。

それとあわせて、先ほども申し上げましたけれども、様々な紙でありますとか、あるいは人件費、こういった部分につきましても現状では上昇しているということから、現在でのこの計上という形になっております。

◇議長（石内國雄君） 6番月田均議員。

〔6番 月田 均君発言〕

◇6番（月田 均君） だから、私が聞きたいのは、前回は商工会の費用しか予算に入れていなかったのだけれども、実際にはもっと、前回のときも余分にかかっていたということなのではないでしょうか。

◇議長（石内國雄君） 経済産業課長。

〔経済産業課長 齋藤 恭君発言〕

◇経済産業課長（齋藤 恭君） 前回につきましては、補助金額総額が全ての経費ということになっております。

◇議長（石内國雄君） ほかに質疑ありませんか。

1番羽鳥光博議員。

〔1番 羽鳥光博君発言〕

◇1番（羽鳥光博君） プレミアム付商品券の財源なのですけれども、1億9,230万円の財源の内訳として、国庫支出金を1億1,500万4,000円と、一般財源が7,729万6,000円ということですが、この一般財源は前年度繰越金を7,729万6,000円充てるというふうなことなのですか、前年度繰越金よりは他の一般財源費目、例えば財調とか、雑収入とか、前年度繰越金が一番ベターなのでしょうか、一般財源を充てる費目として、前年度繰越金をなぜ補正をしたのか。ではなくて、財政調整基金だとか、雑収入とか、そういうのをまず先に考えるのではないのでしょうか。

◇議長（石内國雄君） 副町長。

〔副町長 萩原保宏君発言〕

◇副町長（萩原保宏君） それでは、羽鳥議員のご質問にお答えします。

通常、前年度繰越金があれば、それを優先して6月とか9月の補正財源とさせていただいております。今回、前年度繰越金が約8億7,000万円ほどありまして、2分の1の4億4,000万円を積みまして、4億3,600万円が繰越金になります。それで、もう当初予算で3,000万円計上しておりますので、6月と今回で約1億4,200万円を使わせていただくということで、まだ残り3億円ありますので、今後の補正に使わせていただきたいと思っております。

なお、財政調整基金ですが、こちらについては当初予算で6億円を取り崩すという予定ですので、財政調整基金はなるべくこれ以上崩さないようにしておきたいということで、前年度繰越金を優先させていただいております。

なお、現在、前年度繰越金の半分、4億4,000万円を積んでおりますので、現状ですと約25億円ぐらいあるのですが、6億円を予定どおり取り崩すことになると、今年度末には19億4,000万円程度になるという予定です。ただ、今後の状況によって、当初予算で6億円を取り崩す予定ですが、そんなに崩さなくても済むのではないかと予想しているところでございます。

◇議長（石内國雄君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

◇議長（石内國雄君） 質疑終了と認めることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

◇議長（石内國雄君） ご異議なしと認めます。

これより本案に対する討論を求めます。

〔「なし」の声あり〕

◇議長（石内國雄君） 討論なしと認めることにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

◇議長（石内國雄君） ご異議なしと認めます。

これより本案に対する表決を行います。

本案を原案のとおり決することにご異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

◇議長（石内國雄君） ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

————— ◇ —————

○字句等整理委任について

◇議長（石内國雄君） お諮りいたします。

玉村町議会会議規則第45条の規定に基づき、本会議の議決の結果、その条項、字句、数字、その他整理を要するものにつきましては、その整理を議長に委任されたいと思います。これにご異議ありませんか。

[「異議なし」の声あり]

◇議長（石内國雄君） ご異議なしと認めます。

よって、条項、字句、数字、その他の整理は議長に委任することに決定しました。

————— ◇ —————

○閉 会

◇議長（石内國雄君） 以上をもちまして、本臨時会に上程されました議案の審議は全て終了いたしました。慎重審議いただき、誠にありがとうございました。

これをもちまして令和4年玉村町議会第3回臨時会を閉会いたします。

大変ご苦勞さまでした。

午前10時16分閉会